



岐阜県庁舎 行政棟・議会棟 建設工事

工事内容説明

この工事を担当した施工会社

行政棟

建築工事 前田・大日本・TSUCHIYA・岐建JV

電気工事 東光・川北・ホクエー・杉浦JV

空調工事 三建・須賀・朝日・二葉JV

衛生工事 川崎・戸島・岡田JV

議会棟

建築工事 大日本・TSUCHIYA・岐建・青協JV

電気工事 内藤・高橋・川田JV

機械工事 松村・日野吉JV



新県庁舎の概要

コンセプト

県政の拠点 行政サービスを着実に担う県政の拠点

「清流の国ぎふ」の象徴 豊かな自然と伝統文化に彩られた本県の魅力を発信

基本方針

安全で安心な県民の暮らしを守る県庁舎

高い耐震性／災害時の機能維持／セキュリティ対策／質の高い行政サービス

県民が集い親しまれ、地域の魅力を発信する県庁舎

親しみやすく利便性の高い庁舎／ユニバーサルデザイン／地域の魅力を発信

環境やライフサイクルコストに配慮した県庁舎

省エネルギー・省資源対策／ライフサイクルコストの低減・長寿命化／再生可能エネルギーの活用

計画概要

敷 地	建設地	岐阜市藪田南 地内	法定容積率	400%
	敷地面積	158,561m ² （公園等を含む）	用途地域	商業地域
	法定建ぺい率	80%	防火地域	準防火地域
建 物		行政棟	議会棟	
	主要用途	事務所	事務所	
	構 造	鉄骨造、免震構造(一部耐震)	鉄骨造、耐震構造	
	基礎構造	既製コンクリート杭	既製コンクリート杭	
	建築面積	7,637m ²	3,312m ²	
	延床面積	68,329m ²	13,929m ²	
	階 数	地上21階、塔屋2階	地上6階	
	高 さ	106m（他に鉄塔等あり）	32m	

事業スケジュール

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
行政棟	着工（7月） 基礎工事等	基礎工事 躯体工事	躯体工事 内・外装工事	竣工 移転・開庁
議会棟		着工（3月） 基礎工事等	躯体工事 内・外装工事	

2019年8月19日



①仮囲い設置工事

現場に第三者が誤って入ってこないように敷地に囲いを設ける工事。敷地内の粉塵やゴミが外部に飛散しにくくする効果もあります。

2019年8月19日



②測量工事

建物の位置や高さの基準を、各工程に合わせて都度設置する工事。間違えると取り返しがつかないため、必ずチェックする必要があります。

2019年8月27日



③山留工事

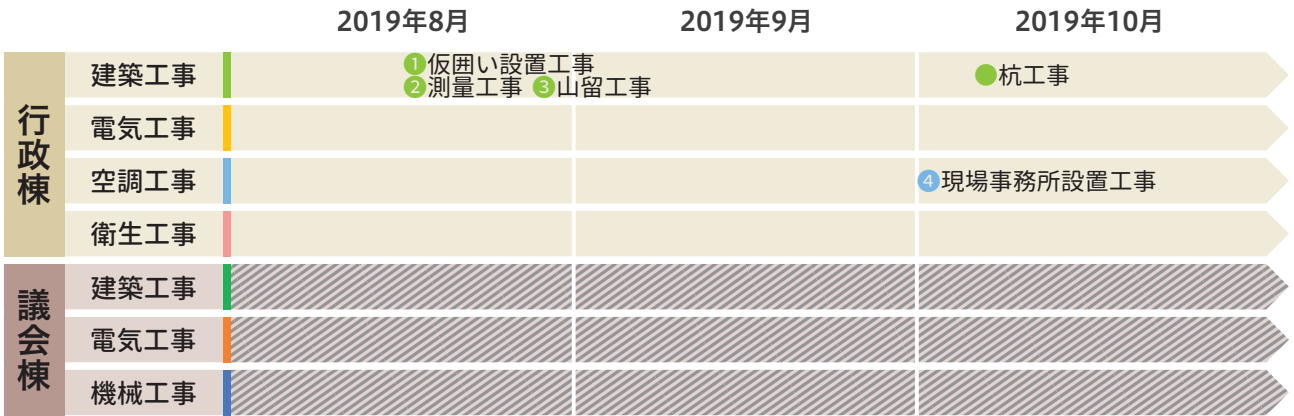
地下工事を進める際に、土砂が流入してこないように壁を作る工事。写真はSMW工法といい、土とセメントを攪拌して壁を作っています。

2019年10月1日



④現場事務所設置工事

ユニットハウスを組立、レッカーにて順番に揚重し、連結していきます。設置完了後、間仕切り、トイレなどの内装工事を行いました。



新県庁舎 全景写真

2019年8月



2019年9月



2019年10月





①掘削工事
地下躯体工事を進めるために余分な土砂を掘削する工事。掘り進め方、ダンプのルート、残土ヤードの計画などが必要です。



②山留工事（アースアンカー）
事前に施工した山留壁が倒れてこないように地盤にアンカーを打ち込む工事。打ち込む先に障害物がないか確認します。



③山留工事（腹起し）
打ち込んだアンカーと山留壁をつなぐ工事。施工後も山留壁が倒れてきていないか毎日チェックする必要があります。



④山留工事（水平切梁工法）
山留壁が倒れてこないように「つつぱり」を施工する工事。



⑤山留工事（シートパイル工法）
鋼製の山留壁を打ち込み、壁を成型する工事。止水性も良く、取り扱いやすいです。工事完了後は撤去することを考慮する必要があります。



⑥型枠工事（RADIX工法）
在来型枠と違い、鋼製型枠を用いて型枠を組み立てる工事。鋼製型枠にすることで先行埋め戻しが可能となります。



⑦土工事（均らしコン打設）
基礎の正確な位置出しや、型枠を建て込めることができるようにする工事。均らしコンクリートに強度はなく、鉄筋も入っていません。



⑧山留工事（親杭横矢板工法）
H鋼を打ち込み、間に矢板を敷き込み山留壁を形成する工事。

		2019年11月	2019年12月	2020年1月	2020年2月	2020年3月	2020年4月
行政棟	建築工事			①掘削工事	②山留工事	③山留工事 ④山留工事	⑤山留工事 ⑥型枠工事 ⑦土工事 ⑧山留工事
	電気工事				●環状設置工事		
	空調工事						
	衛生工事						
議会棟	建築工事						
	電気工事					着工	
	機械工事						

新県庁舎 全景写真





①スリーブ工事
躯体工事の進捗に合わせて配管、ダクトが躯体を貫通する箇所に、コンクリートが入らないよう枠を入れます。



②杭工事
建物を安全に支えるため杭径φ500～φ1200の杭を地中へ18～24m打ち込みました。



③仮設工事
工事を行う上で必要なタワークレーンを支持する杭を地中へ12m打ち込みました。



④接地工事
電気機器の経年劣化や損傷で漏れた電流による感電や火災を防ぐため、地中に金属棒等を打込み漏れた電流を地中へ逃がします。



⑤土工事
基礎構造を作るためにバックホーを使用し約2.5m地盤を掘削しました。



⑥仮設工事
掘削が進み、地下ピットの作業スペースを確保するために、仮設構台を設置する工事を開始しました。



⑦仮設工事
仮設構台の設置が完了しました。

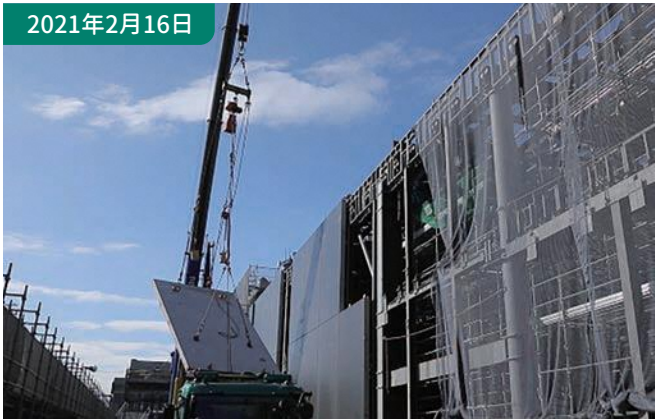


⑧空調配管工事
機械棟から高層棟、低層棟、議会棟へ冷温水を送るため、ピット階を展開して配管を敷設する工事を開始しました。

2020年5月～2020年8月		2020年9月	2020年10月	2020年11月	2020年12月	2021年1月
行政棟	建築工事	●山留工事 ●鉄骨工事 ●コンクリート工事 ●仮設工事		●仮設工事 ●鉄骨工事 ●コンクリート工事	●地上躯体工事	
	電気工事	●接地工事 ●外構工事	●スリーブ・インサート工事			●ケーブルラック工事
	空調工事		①スリーブ工事			⑧空調配管工事
	衛生工事		●スリーブ・インサート工事	●衛生配管工事	●ガス埋設配管工事	
議会棟	建築工事		②杭工事	③仮設工事	⑤土工事 ⑥⑦仮設工事	
	電気工事				④接地工事	
	機械工事					

新県庁舎 全景写真





①外装工事（PC a 取付）
鉄骨工事後に外壁を取り付ける工事。外装を取り付けるための下地は、鉄骨製作前に検討しておき、事前に取り付けておく必要があります。



②コンクリート工事
1Fスラブをコンクリートポンプ車を用いて打設を行います。



⑤スラブインサート工事
各階スラブにおいて、コンクリート打設前に配管、ダクト吊りボルト用のインサートを取付ける工事です。



⑥免震工事
免震装置を取り付ける工事。鉄骨精度にも影響する恐れがあるため、取付前・取付後・鉄骨施工後に測定を行い、慎重に工事を進める必要があります。



③スリーブ工事
地下ピット内のコンクリート壁や梁に電気配管を通すため、コンクリート打設前に予め口径の大きい配管を入れる工事です。



④スリーブ工事
地下ピット内のコンクリート壁や梁に設備配管を通すため、コンクリート打設前に予め口径の大きい配管を入れる工事です。



⑦ダクト工事
給排気、空調の風を送るため、亜鉛鉄板製のダクトを低い所では2.5m、高い所では5mの高さへ吊込みを行います。



⑧コンクリート工事
ポンプ車を用いて建物の基礎・地中梁のコンクリートを打設します。

2021年2月		2021年3月	
行政棟	建築工事	●ALCパネル工事 ①外装工事	●鉄骨工事 ⑥免震工事 ②コンクリート工事
	電気工事		●ケーブルラック天井内配線工事
	空調工事		⑦ダクト工事
	衛生工事		
議会棟	建築工事		⑧コンクリート工事 ⑩土工事
	電気工事		③スリーブ工事
	機械工事		④スリーブ工事 ⑤スラブインサート工事

■新県庁舎 全景写真



⑨鉄骨工事
工場で製品検査に合格した製品を現場で取りつける工事。搬入車両が多いため、1日の取り付ける量を計画し、タイムリーに施工を行います。



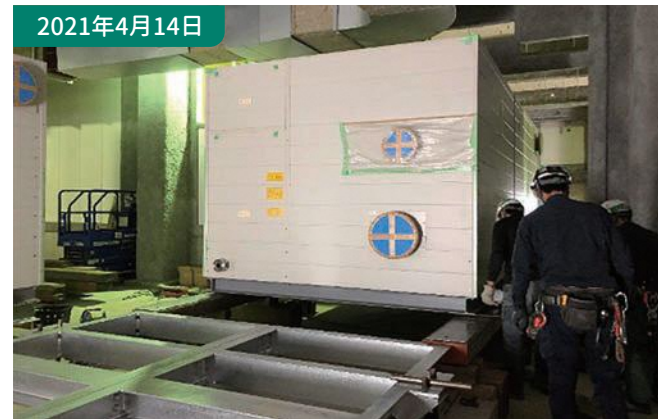
⑩土工事
基礎構造を作った後に土砂を転圧しながら埋め込みます。



①仮設工事
建設資材を揚重する為に720tタワークレーンを組立て設置します。



②耐火被覆吹付工事
耐火性、断熱性の高いロックウールで鉄骨の骨組みを被覆する事で火災時の建物の倒壊を防ぎます。



③ガス焚き吸収式冷温水発生機搬入
機械棟2階熱源機械室に吸収式冷温水発生機を搬入据付しました。異なるエネルギーを使用する複数の熱源機を設置しています。



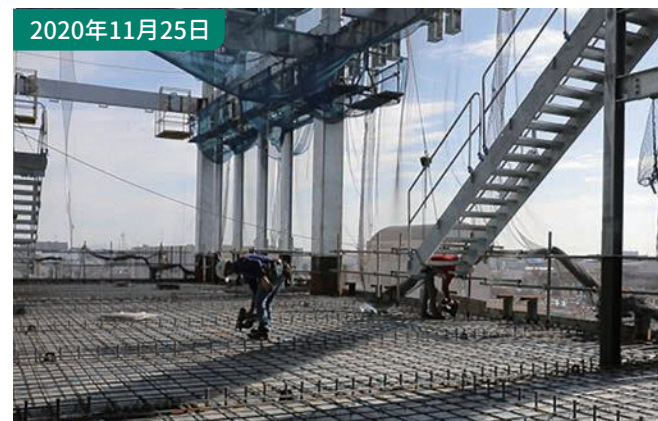
④コンクリート工事
1階床コンクリート打設状況です。



⑤水冷ヒートポンプチラー搬入
年間を通して一定の温度である地下水熱を利用する水冷ヒートポンプチラーを設置します。



⑥太陽熱集熱器搬入
日射時間が多い地域特性を利用して、太陽熱を空調に利用します。



⑦躯体工事（デッキ敷・スラブ配筋）
鉄骨建方後、各階の床を施工するための工事。鉄骨工事中に先行で資材揚重するなど、事前の計画によって施工性が大きく変わります。



⑧鉄骨工事
建物の骨組みとなる鉄骨を建てていきます。

	2021年4月	2021年5月	2021年6月
行政棟	建築工事	●AW取付工事 ●仮設工事 ②耐火被覆吹付工事	⑦躯体工事 ●コンクリート工事 ●断熱工事 ●防水工事
	電気工事	●太陽光パネル工事	●非常用発電機搬入
	空調工事	③ガス焚き吸収式冷温水発生機搬入 ⑤水冷ヒートポンプチラー搬入 ⑥太陽熱集熱器搬入	
	衛生工事		●受水槽組立工事 ●さく井工事
議会棟	建築工事	①仮設工事 ④コンクリート工事	⑧鉄骨工事 ⑨コンクリート工事
	電気工事		
	機械工事		

■新県庁舎 全景写真



⑨コンクリート工事
2階床スラブコンクリート打設状況です。



⑩ALCパネル工事
軽量気泡コンクリートパネルを取り付ける工事。耐火性能を持ち合わせたパネルで、取り扱いやすく、様々な箇所で使用されています。



①PC工事
2階外壁PC版、取付状況です。



②コンクリート内配管工事
部屋内の机や家具にコンセントや電話の配線をするため、コンクリート打設前に予め通線用の配管を入れる工事です。



③コンクリート工事
5階スラブコンクリート打設状況です。



④PC工事
4階外壁PC版取付状況です。



⑤露出金属配管工事
地下ピット内や機械室等の建築仕上がない場所では、金属配管でケーブルを保護しています。



⑥大型機器搬入工事
外壁工事より先行し、大型空調機を搬入します。



⑦耐火被覆工事
鉄骨部分の耐火被覆を行うためにロックウールを吹き付けています。



⑧内装工事（ボード張り）
クロスや塗装などの下地となる壁を組み立てる工事。壁の仕様により様々な張り方があるため、混同しないように注意して施工します。

	2021年7月	2021年8月	2021年9月
行政棟	建築工事	●コンクリート工事 ●PCa工事 ●内装工事 ●耐火被覆工事	
	電気工事	②コンクリート内配管工事 ●内装工事 ●軽量間仕切内配管工事	
	空調工事	⑤露出金属配管工事	
	衛生工事		
議会棟	建築工事	①PC工事 ④PC工事 ③コンクリート工事 ⑦耐火被覆工事	⑩外部建具工事
	電気工事		⑨軽量間仕切内配管工事
	機械工事	⑥大型機器搬入工事	

■新県庁舎 全景写真



⑨軽量間仕切内配管工事
部屋を間仕切る壁の中にコンセントや電話の配線をするため、壁が仕上がる前に予め通線用の配管やボックスを取付ける工事です。



⑩外部建具工事
外部アルミサッシ取付状況です。



①PC工事
6階外壁PC版取付状況です。



②鉄骨工事
鉄骨建方状況です。地上で30mの梁を組み立ててタワークレーンにて取り付けました。



③天井内機器吊込工事
部屋の空調を行う機器を、天井内に吊込みます。



④天井内配管ダクト吊込工事
部屋天井内の空調機にダクト、配管を吊込、接続。空調機、配管、ダクトが繋がり、部屋を空調します。



⑤仮設工事
450tクレーン車にてタワークレーンを解体しました。



⑥床工事（フローリング貼り）
床仕上げ工事。床の下地が悪いと仕上げ面に段差が生じるため、着手前に下地を確認する必要があります。



⑦断熱工事
断熱性能を確保するために発泡ウレタンを吹付しました。



⑧鋼製建具工事
内部鋼製建具取付状況です。

	2021年10月	2021年11月	2021年12月	2022年1月
行政棟	建築工事	●内装工事 ●木工事	●エスカレーター設置工事 ●移動観覧席工事 ●床工事	●ECP工事
	電気工事	●天井内配線工事		
	空調工事			
	衛生工事		●衛生器具付工事	
議会棟	建築工事	①PC工事 ②鉄骨工事	⑤仮設工事 ⑦断熱工事 ⑧鋼製建具工事 ⑨屋根工事	
	電気工事			
	機械工事	③天井内機器吊込工事 ④天井内配管ダクト吊込工事		

新県庁舎 全景写真



⑨屋根工事
屋根折板を現場で成形し、クレーンにて荷上げ後、屋根葺き施工しました。



2022年2月14日

①仮設工事
外部足場を解体していき外壁が姿を現しました。



2022年7月4日

②塗装工事
内部建具の塗装仕上げ状況です。



2022年7月12日

③機器・器具付け工事
部屋を空調するための吹出口、吸込み口の取付工事です。



2022年7月20日

④外構工事
アスファルト施工状況です。



2022年8月1日

⑤床吹出空調工事
執務室内は床吹出空調です。床吹出口の位置は、OAフロアパネルを入替えることによって変更可能です。



2022年8月5日

⑥床ふく射設備工事
夏場は地下水の熱を、冬場は太陽の熱を利用して、足元から冷暖房を行う環境にも人にもやさしい空調です。



2022年8月8日

⑦消火ポンプ据付完了
議会棟の屋内消火栓設備の要となるポンプです。



2022年8月8日

⑧空調設備試運転調整
空調設備工事が完了し、試運転調整を実施しました。

	2022年2月	2022年7月	2022年8月	2022年9月
行政棟	建築工事	●ALC工事 ●木工事 ●エレベーター設置工事	●タイル工事	
	電気工事	●照明器具、配線器具付		
	空調工事		⑤床吹出空調工事 ⑩自動制御・中央監視設備 ⑥床ふく射設備工事	
	衛生工事			
議会棟	建築工事	①仮設工事 ②塗装工事 ④外構工事	⑨クロス工事	
	電気工事			
	機械工事	③機器・器具付け工事	⑦消火ポンプ据付完了 ⑧空調設備試運転調整	

新県庁舎 全景写真



2022年7月



2022年8月



2022年9月



2022年8月10日

⑨クロス工事
化粧クロスを壁に貼り付けしている状況です。



2022年8月15日

⑩自動制御・中央監視設備
各設備の稼働状況やエネルギー使用量を管理し効率的な運転を行えるようにBEMSを導入しました。

行政棟の設備



低層棟・機械棟外部：井戸



約72mの深さの井戸があります。豊富な地下水源を飲用水や空調熱源として利用しています。

機械棟1階：ろ過装置



井戸水を飲用水にする為の装置です。

高層棟外部：ガス設備



都市ガスに加え災害時に利用可能なLPGバルクタンクを設置しています。

高層棟2階：給湯システム



太陽熱を使って厨房で使用する給湯の補給水を予熱しています。

各階：屋内消火栓



内装材に合わせた消火栓を設置しています。

低層棟1階：災害用汚水貯留槽



災害時の汚水が流せない際に排水経路を切替えて一定量をため込むことができる汚水槽があります。

議会棟の設備



屋上：消火補給水槽



消火補給水槽を屋上に設置しています。目隠し壁により外観を損ねないように配慮しています。

各階：屋内消火栓



各階に配置された屋内消火栓は、内装壁に合わせたパネルとなっており、デザイン性を考慮しています。

各階：UWC



各階にあるUWCは、多機能トイレバックを設置し、UWC利用者に配慮した器具配置となっています。

各階：WC



各階にあるWCの洋風便器は、壁掛けとなっており、床面の清掃が便器下部まで行え、衛生的に利用できます。また、フラッシュタンク方式となっており、節水効果もあります。

5、6階：バルコニー 散水栓



5階、6階のバルコニー部分に散水栓があり、バルコニーの清掃、メンテナンス時に利用できます。

1階：エントランス床吹出空調



エントランスは外壁際の床面と格子天井から吹出空調を行い、室内の環境向上を図ります。

1階：空調機械室 空調機



各階の空調機械室に空調機を設置し、各エリアの空調を行います。

5階：議場 空調吹出し



議場の空調は天井部分より吹出を行います。議場内への機械騒音を抑えるため、ダクトの経路上に消音器を設置しています。

6階：バルコニー 自然換気窓



外気条件が良い時に、少ないエネルギーで室内の環境を改善できる自然換気を行います。

5階：議場 映像音響設備



議会運営に必要な映像音響設備（マイク、スピーカー、カメラ、モニター等）を設置しています。

5階：電気室 受変電設備



機械棟より高圧電気を受電し、低圧電気に変えて、議会棟内の各電気機器へ電源を分配しています。

6階：傍聴席 映像音響設備



磁気ループアンテナを設置しており、難聴者へ専用の受信機を貸し出し、会議音声を聴取できます。壁面には大型モニターを設置しており、手話通訳画像を流しています。

6階：調整室 映像音響設備



議場内に設置した映像音響設備を集約し、操作を行います。庁内やインターネットに映像を配信できます。